

第10回 小諸市長期学校改築計画検討会 議事概要

日 時：平成29年11月2日（木）19:00～20:45

場 所：小諸市役所3階 第1会議室

【出席者】

委 員 10名（欠席者 尾芦委員、市川委員、山口委員、福田委員、小林委員、
大池委員、黒澤委員）

事務局 5名

【日 程】（進行3、4は副座長 他は教育次長）

1. 開 会
2. あいさつ 渡辺座長、小林教育長
3. 前回の振り返り
4. 小中一貫教育について 委員全員
5. その他

第11回 日時：平成29年11月22日（水）19:00～
会場：市役所3階 第1会議室

第12回 日時：平成29年12月14日（木）19:00～
会場：市役所3階 第2会議室

第13回 日時：平成30年 1月17日（水）19:00～
会場：市役所3階 第1会議室

6. 閉 会

【会議録】

冒頭の座長あいさつより

座長：今日は前回の振り返りと小中一貫教育についてということで話を進めていきますので、よろしくお願いします。小中一貫については当面困難というようなことが一応中間報告会では出ていますが、この会が始まったところから中一ギャップってのは経験しなきゃいけないことだっていう意見もありましたし、いややっぱり一貫でやった方がいいんだという、みんなの意見が詰まっていないような感じですので、今日はぜひみなさんがはっきりとか曖昧な意見ではない意見をしっかりとっていただければと思います。

3. 前回の振り返りと4. 小中一貫教育についての委員の感想

副座長より、前回の振り返りということで、提言について確認

今日の一番の問題は4番の小中一貫教育をどう進めていくかという話になった。

- ・視察に行って小一貫校というシステムのメリットは感じている。ただそれが小諸でどうかというところはまだ考えられない。やるなら義務教育学校の方が子どもにとってはより良いのでは。
- ・私は小諸でも小中一貫校は可能ではないかと考えます。立地はこの駅周辺とかは厳しいと思うけれど、今の中学校の近くとかの位置なら、土地とかの場所を考えても作れないっていう訳じゃないと思う。
- ・教育内容の面からみても小中一貫校をやることによって子どもの学力の伸長ということが非常に図れるのではないかと。親はやはりある程度勉強ができたほうが良いというのが当たり前のことで、その親の気持ちにこたえる意味でも、小諸市が率先してやっていった方がよいと思います。
- ・小中一貫校は賛成です。方向性は一貫校を作っていくべきではないかと。今の中学2校だけではなく、3,4校作ったらいいかなと思います。
- ・一貫という考え方はすごく大事だなと思います。一貫して9年間をみていくということについては賛成です。が、同じ学校で同じ子供たちがずっと育っていくことのメリット・デメリットは心配な面があるかなと。
- ・1,000人くらいの義務教育学校みたいなものを作るとしたら、中学校としては非常に規模が小さくなるので、部活とかそういう問題については、学校独自ということではなくて市全体として社会体育みたいな組織を作っていくといけないのでは。
- ・一貫校にするなら信濃町のような義務教育学校の方がいいのかなと思います。ただまだ始まったばかりで成果とかそういうものがわからないわけですよね、しかしそんなこと言ったらいつまでたってもできないわけだから、そういうことなら、一つの一貫校と今までどおりとで検討していけばいいと思います。
- ・小諸市くらい人口が多いと小中一貫校は無理と考えます。究極に作るとしたら小中一貫校は1校かなと。二つは無理だと思います。
- ・方向性として小中一貫校は大変魅力的だと思います。いくつも作ると中学が小さくてバランスが難しいのと、校区の再編が難しいと思うんですけど、方向性は信濃町のような一貫校は魅力的ではあります。
- ・学習能力が劣ってしまっている子どもたちに対しても、小学校の先生が近くにいることは心強いと思う。聞きやすいということがあると思います。この子にはこういう対応の仕方ですってのも子どもによってはあると思うので。
- ・中学校が小さくなってしまうといろいろな部活ができなくなるということに関しまして、他県のどこかで市が中心になって部活を行ってるところがあったと思います。他の学校に移動する時間はかかってしまいましたが、細分化された中でも部活が活発に行われることも可能ではないかなと思います。
- ・前にこの話し合いでも出ましたが、適正な規模にならないと人的な配置というか教育的な人的配置が充実してこないってところもありますよね。そういう意味でもある程度の規模に持ってくるっていうのも必要なことだし、以前財政の話が出てきたんですけど、適正な規模にまとまっている方が充実した教育予算がとれるでしょうし、建設

するときに今の時代に合った教育環境を整備できる、そういうような意味からしても、規模をまとめていくことは大きなことかと思います。

- ・職員の立場からすると、小中の先生方が一緒にいるわけですから、両方の様子がわかって共有できて共通理解ができて、同じ方向で指導していくということは、結局子どもにとってプラスになるのかなと思います。
- ・一人の子どもを小中の先生がずっと見ててくれて、その子に対して共通の理解ができることが一番いいと思う。理想の学校は、学校と家庭と地域がつながってる学校が一番理想だと思ってるので、校区の編成は心配ですが、統廃合も必要だと思うし、また新しく作っていただければいいかなと思います。

座長：小学校から一貫して指導を続けていくことができることでメリットが大きいのではないかと、ただ物理的に小諸市の規模としてどういうことだったら実現できるのかってところがなかなか現状だといつくもの課題が見えてきてしまうというところ、具体的にはどうしたらいいのかってことが出てこないというところですかね。あとは皆さんが感じている課題がどんなところにあるのかというところで進めていきたいと思いますが、一つは物理的に場所の課題というのが出ましたよね。そのほかに一貫校にしたならこんなところが課題として出てくるなあというところはあるますかね？

- ・前にいただいた資料の中に品川区がだいぶ前から小学校、中学校、義務教育学校があるというのがあった。こういう先行事例を研究するというのが大事なんじゃないかと思います。
- ・一つは東中校区で現在の併設型、芦中の方は一貫校にするとか、それも一つの在り方であり、方法じゃないのかなって思いますけどね。
- ・先行の事例を研究して、次につなげるという意見もいいと思いますが、対象はあくまでも子どもであって、実験対象みたいな考え方はいかがかなと思います。
- ・いっぺんにまとめて作るって意味で言ってるんじゃないくて、一つずつ作っていった最終的には小諸市の中を義務教育学校にしていったらいいんじゃないかなっていう考え方です。
- ・あくまでも子どもとか子どもの学力を中心に議論してきた気がしますが、途中から違う色の議論になってきたような気がしています。まずは子どもたちのことを最優先に考えた方がいいのかなと。箱モノや場所についての話はあとあとついてくる話だと思うので、子どもたちを中心に置いて話した方がいいのかっていう感想なんです。

座長：統合っていうか学校を再編するっていうことと、小中一貫というのがごっちゃになっているような感じがするんだけど、信濃町でも佐久穂町でも「いいな」と思ったのは、小中一貫だからいいのかな、それとも統合したから良かったのかな。あの二つを見て私が感じたのは、小中一貫の効果というのは両校ともまだわからないというか、まだ出ていないというかな。統合したから生じたいいい面が見えているというか、だから両校を見て小中一貫が成功してるとか効果が大きいなと決めるのはちょっと早計かなと感じたわけです。どうも我々は錯覚を起こしてる可能性があるかな。

- ・信濃町は地域が「どうにかしてくれ」、「少子化になったからどうにかしてくれ」っていう方向で一貫を作ったっていうお話で、今まだどこがいいのかどこが悪いのかっていうのが見えてこないって言っていたので、小諸市が何年かかるかわかりませんが、ここまでの検討や取り組みを中断してしまうよりは同時進行で進めていただいた方がいいかなと思います。
- ・子どものためと言っても基本的には最初にお話があった人数とクラス数だけは押さえていかなければならない。となると、小学校だけで考えれば比較的簡単なことなんじゃないかな。〇〇小を残し、〇〇小を残し、〇〇と〇〇を合併し、〇〇と〇〇を合併すると。こういう形で簡単にいくんじゃないかなと思いますね。
- ・私はそうではなくて、小中一貫で長い目でじっくり研究していった方がいいと思いますね。もう何も残さない、ここからは何も提言しないということで今まで通りこのままやっていくんだということではなくて、もっと小諸市が子どもさんがどうなっていたらいいかってことを考えたとき、やはり小中一貫は外せないと思いますね。
- ・反対しているわけではなくて、子どもが少なくなってきているのは明らかなので、小中一貫校を否定的にとらえているわけではなく、すぐ棲み分けができるような話ではないと思うので、時間をかけてというのは大事だと思うし、その中で未来像というのを皆さんと議論していくのはもちろん必要なことだと思う。

副座長：今の大学が変わってきている。そして教育そのものがここ５年間でがらりと変わります。大学入試が変わり高校入試が変わります。そうなるとなんらかの形で小中一貫は必要になってくる。表現力を育てるにしても今の小学校は体験させたり考える時間が多くて、中学校にいくと知識注入のが多くなっちゃいますよね。そうなるとつながっていない。これはこのままだと子どもたちに不幸である。それは何もしないでいると小諸市の教育は遅れをとっていつてしまうなと見てて思います。ですから何年か後にはその方向に小諸市が進む道なのではないかなと思います。

座長：だいたい皆さんの意見は出そろいましたかね。意見は○も△も×もありましたね。また事務局と副座長ともたたき台の表現について相談しながら提示したいと思います。４分割とかっていう話はここの検討会で話すことじゃなくて、次の組織が時間をかけて考えると事だからね。もう回数もないから次回はたたき台の表現ついてやりたいと思いますがいいですかね。

副座長：あと何回もできないわけですから、次回はもう提言の内容を具体的に出して詰めていかないと提言案を作れないわけですから、そういう形でいきたいと思いますが、よろしいでしょうか。